



2018年10月2日
東日本旅客鉄道株式会社
JR東日本スタートアップ株式会社

AIを活用した無人決済店舗の実証実験第二弾を赤羽駅で実施 ～レジで会計待ちをすることなく、スマートなお買い物体験を～

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二）とJR東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕）はベンチャー企業と協業し新たなビジネス・サービスを実現する「JR東日本スタートアッププログラム」のアクセラレーションコースにおいて、2017年度最優秀賞を受賞したサインポスト株式会社（代表取締役社長：蒲原寧）が開発したAI無人決済システム「スーパーワンダーレジ」を使って、2018年10月17日（水）より東京都北区の赤羽駅5・6番線ホーム上店舗で、実証実験を実施します。
- このシステムを使った実験は、決済の短時間化による利便性向上を目的として、昨年11月に大宮駅でも実施しました。今回は、商品認識率と決済認識率を向上させ、今後の実用化を目指します。
- JR東日本グループはオープンイノベーションの一環として、事業化に向けた様々な実証実験を行っており、効果検証を踏まえ、ベンチャー企業のアイデアや技術と、グループの経営資源をつなぎ、夢をカタチにしています。
- JR東日本グループは、「生活サービス事業成長ビジョン（NEXT10）」のもと、これまでのビジネスに磨きをかけるとともに、事業の変革及び創造を目指しています。

(1)実証実験の目的

2017年11月の実証実験結果を踏まえ、AI無人決済システム「スーパーワンダーレジ」の商品認識率や決済認識率を向上させるほか、新たに複数人を同時に追跡して決済を可能にすることで、無人決済店舗の実用化を目指します。

(2)実証実験内容

会場は赤羽駅ホーム上のKIOSK跡を活用した特設店舗で、一般のお客さまを対象に無人決済店舗の実証実験を行います。「スーパーワンダーレジ」を導入することで、食品や飲料などお客さまが選んだ商品をAIが把握し、自動的に購入金額を算出。レジで会計待ちをすることなく、交通系電子マネーで短時間に決済を行うことができます。

(3)実証実験の概要

期 間：2018年10月17日（水）から2カ月程度

営業時間：10:00～20:00 ※平日のみ。土日祝は休み。

場 所：赤羽駅5、6番線ホーム上特設店舗

（東京都北区赤羽1丁目1-1）

店舗面積：約21平方メートル

販売商品：約140種類（飲料、ベーカリー、菓子類）※紀ノ国屋の商品



【外観イメージ】



【内観イメージ】

※店舗状況により、内容等が予告なく変更となる場合がございます。

(4)実証実験の手順

・お客さまのお買い物手順

- ①店舗入口で交通系電子マネーをかざして入店
- ②売場の商品棚から商品を手に取り、決済ゾーンへ
- ③壁掛けディスプレイで購入する商品名と合計金額を確認
- ④交通系電子マネーで決済
- ⑤決済が完了すると出口ゲートが開く



【入店イメージ】



【商品棚イメージ】



【決済イメージ】

・AI 無人決済システムの動き

- ①天井に設置されたカメラがお客さまを認識
- ②商品棚にそれぞれ設置されたカメラ等のセンサーにて、お客さまが手に取った商品を認識
- ③自動的に購入商品の合計額を算出し、壁掛けディスプレイに表示

【参考】前回の実証実験について

JR 東日本が推進するオープンイノベーション型ビジネス創造活動「JR 東日本スタートアッププログラム」の一環で2017年11月の7日間、大宮駅で「スーパーワンダーレジ」を組み込んだポップアップストアを展開し、約2,000名のお客さまに体験していただきました。

期 間：2017年11月20日（水）～26日（火）

営業時間：10:00～18:00

場 所：大宮駅西口イベントスペース（さいたま市大宮区）

店舗面積：約27平方メートル

販売商品：約130種類（おにぎり、飲料、菓子類）

※NewDaysの商品

(5)協業企業について

サインポスト株式会社

サインポスト株式会社は金融機関や公共機関に対するシステムコンサルティング事業、システム提供のソリューション事業及びAI（人工知能）を活用したイノベーション事業を展開しています。イノベーション事業としては、設置型AI搭載レジ「ワンダーレジ」や、スーパーマーケットなどの大型店舗を対象とした「スーパーワンダーレジ」を開発。レジ待ち時間の短縮に加え、深刻化する人手不足等の解決する技術として注目されています。

・所在地：東京都中央区日本橋本町4-12-20 P M O日本橋本町6F

・代表者：代表取締役社長 蒲原寧

・設立：2007年3月1日

・資本金：3億5706万7200円（2018年8月末現在）

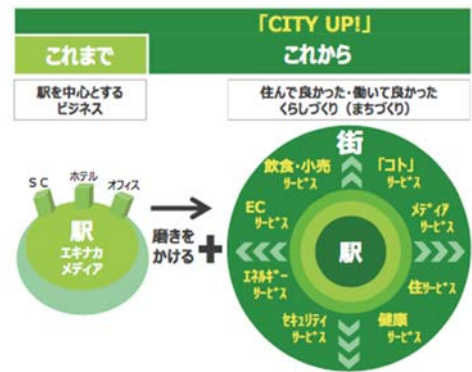
・事業内容：システムコンサルティング

・U R L：<https://signpost1.com/>



生活サービス事業成長ビジョン（NEXT10）とは

JR 東日本グループが会社発足から 30 年が経過した 2017 年に、今後 10 年を見据えて策定した生活サービス事業の成長ビジョンです。「CITY UP!」をスローガンに、これまでの「駅を中心とするビジネス」に磨きをかけて、「くらしづくり（まちづくり）」に挑戦します。長期成長の実現に向けた「4本の柱」として、市中や当社エリア外への事業領域の拡大やオープンイノベーションなどに取り組む「のびる」、駅を中心とした魅力あるまちづくりを進める「ひらく」、地域の活性化や地域間交流の促進を図る「つなぐ」、既存事業の価値を高める「みがく」を設定し、駅の個性に磨きをかけるとともに街の魅力向上に努めます。



* 最新情報や取組みの詳細はこちらをご覧ください *

生活サービス事業成長ビジョン（NEXT10）PR サイト <http://cityup.jp/>

JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとベンチャー企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地： 東京都渋谷区（東日本旅客鉄道株式会社本社内）

代表者： 代表取締役社長 柴田 裕

株主： 東日本旅客鉄道株式会社（100%）

設立日： 2018年2月20日

出資枠： 50億円

連絡先： E-mail info@jrestartup.co.jp

ホームページ <http://www.jrestartup.co.jp>

 JR East Start UP Co., Ltd.

あなたの夢を未来へつなぐ
「明日」創造ステーション